



株式会社 ヤマックス

(写真：熊本市中心市街地)

61

第61期報告書

**YAMAX**  
BUSINESS REPORT

(写真左：南阿蘇鉄道、写真右：阿蘇神社楼門)

2023年4月1日～2024年3月31日

証券コード：5285



# To Our Shareholders

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちヤマックスグループは、創業以来、「技術」と「品質」をもってお客様のニーズに応え、豊かな社会の発展に貢献することを使命と考えてまいりました。地球規模で人と環境の問題がクローズアップされる今こそ、グローバルな視点から災害や自然への対応を考えなければならない時だと思っております。

これまで、そしてこれからも「人と環境の最適な調和」を念頭に皆様に信頼される業界のリーディングカンパニーとして、新たな成長を目指して前進してまいりますので、株主の皆様を引き続きの、また倍旧のご支援、ご指導を謹んでお願い申し上げます。

それではここに、当連結会計年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の当社グループの経営成績等につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長 茂森 拓

2024年6月

## 経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限緩和に伴うインバウンド需要の増加や各種政策の効果により、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ・中東の地政学リスクの増大や原材料・エネルギー価格の上昇、金利・為替の変動など、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、国の継続的基本方針の一つである「国民の安全・安心の確保」を実現するために、国土交通省の2023年度当初予算は前年度と同水準にて決定され、VFM (Value for Money) の考え方を取り入れたプレキャスト工法の活用推進も活発になってきており、防衛省関連におきましても、九州・沖縄方面の事業拡大が期待される状況となりました。また、当社の本店所在地である熊本県内の大型企業誘致に関連する事業も多く計画されており、新型コロナウイルス感染症の影響で縮小傾向にあった民間需要も徐々に回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、国土強靭化計画に基づく防災・減災対策並びに道路・トンネル・橋梁等の各種インフラ老朽化対策に向けた国や各地方自治体の動向に注視するとともに、生活の基盤を支える社会資本整備への具体策に向けた情報収集にも注力してまいりました。また、エネルギー価格の高騰及びウクライナや中東の情勢等に起因する諸品目の価格高騰などを要因として、原材料並びに資材・経費の価格上昇が続いておりますが、当社グループでは徹底した工場生産量の平準化による原価低減と柔軟な販売価格への転嫁により、係る原価の上昇をカバーできるよう努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は208億7百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益は18億2千4百万円(同118.7%増)、経常利益は18億3千4百万円(同120.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は12億9千7百万円(同139.9%増)となりました。

## 対処すべき課題

今後の当社グループを取り巻く経営環境につきましては、国土交通省の2024年度当初予算は前年度と同水準にて決定され、建設業の2024年問題に対し有効活用が期待されているプレキャスト工法の推進も活発になると予測されます。また、防衛省の2024年度当初予算は前年度比17.0%増となっており、九州・沖縄方面を始め当社の事業エリアである関東・東北地区でも防衛省関連事業が期待される状況下にあります。そのほか、当社の本店所在地である熊本県内では、半導体関連産業の集積に伴う産業用地の整備や周辺道路の交通渋滞改善に向けた道路整備等の公共事業投資に加え、関連産業の工場建設や住宅供給等の民間設備投資も多く計画されております。

このような経営環境を踏まえ、当社グループは、建設業界の人手不足や働き方改革に対応できるプレキャスト工法の需要増を見据えて製品供給体制の強化を図るとともに、新設した品質保証室を中心に技術本部や製造部門と連携し、顧客が求める高品質へのニーズにも応えるべく取り組んでまいります。また、雇用・所得環境の改善を目的とした賃金の上昇に加え、物価上昇圧力による原材料並びに資材・経費の価格上昇や高止まりも継続されることが予想され、これらに伴うコストアップへの対処として、利益率の改善や販売価格への転嫁にも取り組んでまいります。

そのような中、土木用セメント製品事業におきましては、大型コンクリート構造物のプレキャスト化の普及拡大を推進すべく、継続的かつ意欲的な営業活動に努め、国や各地方自治体の防災・減災、国土強靱化の動きにも適宜対応してまいります。また、自社製造品の売上割合増加による利益率の改善を目指し、営業・工場の連携をより一層深め、製品供給体制の強化を図るとともに、製造の効率化と利益率向上に取り組んでまいります。

建築用セメント製品事業におきましては、建設現場における人手不足の常態化や働き方改革による4週8休等が浸透しつつある中、これらに対応できる建築用コンクリート製品の強みを活かしながら、回復基

調にある民間建設投資の動きに臨機応変に対応するとともに、安定的な受注の確保による工場生産量の平準化を徹底し、労務費上昇や資材価格高騰などによるコストアップを吸収すべく原価低減を図ってまいります。

不動産関連事業におきましては、物価高や金利上昇並びに半導体工場周辺における地価高騰など、住宅の購買意欲に懸念材料もみられる中、環境の激しい変化に柔軟に対応するとともに、自社分譲地の開発や販売を促進してまいります。また、主な集客拠点である総合住宅展示場及び複数展開する建売モデルハウスへ効率的に誘導するなどインサイドセールスを強化してまいります。



### ヤマックスを支える3つの柱

ヤマックスは、「人と環境の最適な調和」をモットーにインフラ整備から住まいづくりまで、常にあなたのそばに存在しています。



#### 土木用セメント製品事業

私たちの社会を支えつづける  
土木用コンクリート二次製品

道路の側溝や下水道、トンネルから橋まで。ボックスカルバートを始め、あらゆる土木用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。

豊かな社会を支える当事業は、近年の自然災害への対応や、自然との調和、循環型社会への転換など、常に時代のニーズに応える製品を生み出し、人々が暮らしやすい生活環境を実現しています。

#### 建築用セメント製品事業

省資源・省力化に貢献する  
建築用コンクリート二次製品

ビルやマンションの床・梁・柱・バルコニー・階段や、戸建て住宅の壁・床など、建築用のコンクリート二次製品の製造・販売を行っています。

大都市圏での需要が目覚しい当事業は、建築現場での木製型枠削減による森林資源の保護や、工期短縮による環境負荷低減など、自然にやさしい建築工法を実現しています。

#### ハウジング事業

一年中快適な「心地いい家」を目指す  
戸建木造住宅

四季を肌で感じられるのは素敵なことですが、「あつい」「さむい」が度を過ぎると少々うんざりします。ヤマックスの家づくりはそんな「うんざり」を「心地いい」に変える家づくりをコンセプトに、戸建木造住宅の販売・施工を行っています。都市づくりで培ったノウハウを活かし、世界に一つだけの、家族にやさしい家づくりを目指します。

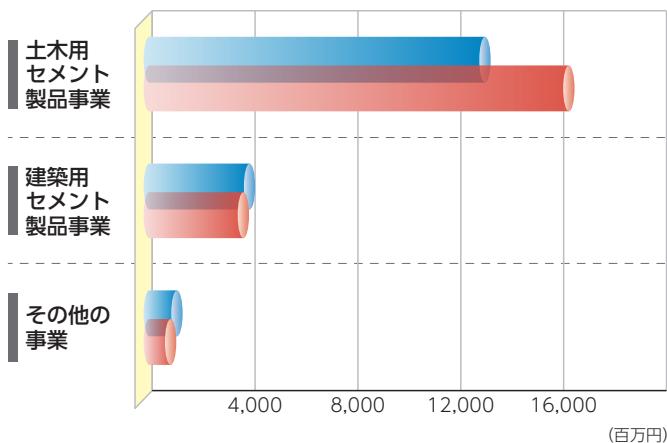
# Business Overview

## 事業別の概況



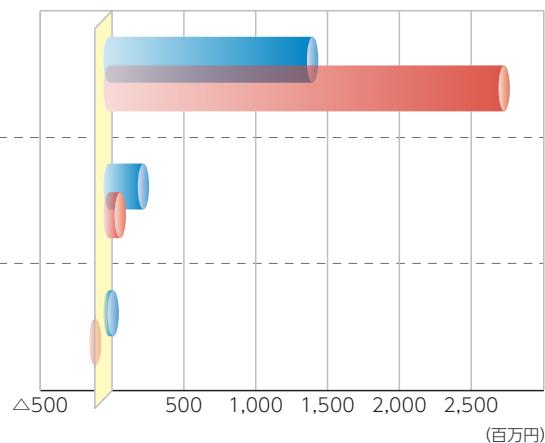
(事業別 売上高)

■前期 ■当期



(事業別 営業利益)

■前期 ■当期



### 土木用セメント製品事業

当連結会計年度における土木用セメント製品事業につきましては、大型案件の受注獲得に向けて技術提案力を強化し、技術本部・生産統括本部との連携を図るとともに、九州域内における大型案件や防衛省関連の情報収集に努め、国や各地方自治体の防災・減災、国土強靱化の動きにも適宜対応できるよう注力してまいりました。

この結果、売上高は163億1千6百万円（前年同期比25.0%増）、営業利益は27億2千5百万円（同95.4%増）となりました。



# Business Overview

## 事業別の概況

### 建築用セメント製品事業

当連結会計年度における建築用セメント製品事業につきましては、回復傾向にある民間需要の動きに遅れることがないよう積極的な対応を心掛け、人手不足や工期短縮に対応できる建築用コンクリート製品の強みを積極的にアピールし、安定的な受注の確保に努めるとともに、工場生産量の平準化による原価低減を徹底してまいりました。

この結果、売上高は36億5千9百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は5千8百万円（同73.4%減）となりました。



### その他の事業

不動産関連事業におきましては、リニューアルオープンした総合住宅展示場のモデルハウスと複数展開する「建売モデルハウス」へのWEB活用による効率的な集客を強化し、「質」を重視した受注活動を目指すとともに、人気エリアにおける自社分譲地の開発や販売にも注力して土地の受注売上の増大を図ってまいりました。

この結果、売上高は8億3千万円（前年同期比22.8%減）、営業損益は4百万円の損失（前年同期は9百万円の利益）となりました。

## 60周年記念祝賀会を執り行いました

1963年10月10日に設立したヤマックスは、2023年10月10日をもって創立60周年を迎え、これを記念して、社内行事として60周年記念祝賀会を執り行いました。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後初めての大規模な社内行事となり、日頃顔を合わせることの少ない社員同士も久しぶりに交流を深めることができました。

各事業所より100名程の社員が参加し、式典の中では会長の茂森潔から創業から今までの歩みについて、社長の茂森拓からこれからのヤマックスについての訓示がありました。社員同士の交流の中でも日頃の業務を振り返りつつ、これからの目標や目指すべき姿について社員間でも共有を行い、社員同士の結束をより強固なものにする良い機会となりました。

ヤマックスが創立60周年を迎え、このようなイベントを開催できたのもひとえに多くの皆様のご指導とお力添えのおかげと深く感謝しております。これを機に、社員一同初心を忘れずさらに研鑽に努め、皆様のご厚情に応えるべく邁進してまいります。



## 株主さま向けの工場見学会を開催しました

2023年10月、熊本県の長洲町にあるヤマックス長洲工場（熊本県玉名郡長洲町名石浜1番地）にて、当社初の試みとなる株主さま向けの工場見学会を開催しました。株主優待制度の一環として、2023年3月末時点で500株以上保有し、工場見学を希望される株主さまへ工場内をご案内させていただきました。

当日は事務所にて長洲工場の概要やコンクリート二次製品の製造方法について説明を行った後、工場長の先導により工場内を回りながら製造方法や各種製造設備について順次解説を行いました。

建設業界でも大きな問題となっている人手不足の解消に貢献できるヤマックスの事業活動について、株主さまにはより一層の理解を深めていただくとともに、実際に工場で出荷を待つばかりの製品群や作業する従業員の様子をご覧いただき、ヤマックスのモノづくりに対する思いの一端を知っていただく良い機会になりました。

また、工場見学会後の昼食会では株主さまからは非常に多くのご意見やご質問を頂戴し、株主さまとの対話の場としても非常に有意義な見学会であったと感じています。

次回、第2回工場見学会は、2024年10月にヤマックス埼玉工場（埼玉県羽生市弥勒1136番地1）で開催する予定です。

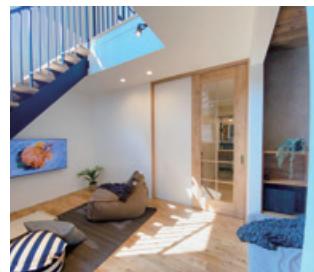


## 新しくモデルハウスをオープンしました

2023年9月、熊本県のKKT合志総合住宅展示場アンビーハウジングパーク（熊本県合志市竹迫2286番）内に新しく「KKT合志モデルハウス」をオープンしました。従来のモデルハウスとは異なり、モデルハウス1棟で2種類のスタイルを体感できる全く新しいタイプのモデルハウスです。

ヤマックスでは「ヴィンテージ」「サーファーズ」「北欧」「モダン」「ナチュラル」の個性あふれる5つのスタイルを取り扱い、外装・内装などお好みのスタイルから選ぶことができます。また、今回のモデルハウスでは「ヴィンテージ」「サーファーズ」の2種類のスタイルを取り入れ、各スタイルの特徴や魅力を「見て・触れて・感じる」こともできます。

ただいま絶賛好評中の「モデルハウスと建売住宅との一体型：マチカドモデルハウス」だけでなく、今回の「KKT合志モデルハウス」も活用し、これからもヤマックスの魅力的な家づくりを積極的に発信していきたいと考えています。



# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第60期	第61期
	2023年3月31日現在	2024年3月31日現在
◇資産の部		
流動資産	8,574,742	11,850,885
固定資産	6,536,424	6,769,193
有形固定資産	5,553,236	5,681,350
無形固定資産	131,328	123,129
投資その他の資産	851,859	964,713
資産合計	15,111,167	18,620,078
◇負債の部		
流動負債	7,656,900	10,045,482
固定負債	1,688,348	1,582,735
負債合計	9,345,248	11,628,218
◇純資産の部		
株主資本	5,756,826	6,893,193
その他の包括利益累計額	12,784	103,547
非支配株主持分	△3,691	△4,880
純資産合計	5,765,918	6,991,860
負債・純資産合計	15,111,167	18,620,078

### 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第60期	第61期
	2022年4月1日～ 2023年3月31日	2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	18,031,997	20,807,045
売上原価	13,951,931	15,555,356
売上総利益	4,080,065	5,251,689
販売費及び一般管理費	3,246,071	3,427,460
営業利益	833,994	1,824,228
営業外収益	55,591	51,952
営業外費用	59,025	41,455
経常利益	830,559	1,834,724
税金等調整前当期純利益	830,559	1,834,724
法人税、住民税及び事業税	395,498	599,794
法人税等調整額	△102,352	△61,006
当期純利益	537,413	1,295,937
非支配株主に帰属する当期純損益	△3,211	△1,188
親会社株主に帰属する当期純利益	540,624	1,297,125

### 連結株主資本等変動計算書

第61期 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,752,040	750,178	3,606,460	△351,852	5,756,826	91,920	△79,135	12,784	△3,691	5,765,918
当期変動額										
剰余金の配当			△160,758		△160,758					△160,758
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,297,125		1,297,125					1,297,125
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						69,108	21,655	90,763	△1,188	89,574
当期変動額合計	—	—	1,136,366	—	1,136,366	69,108	21,655	90,763	△1,188	1,225,941
当期末残高	1,752,040	750,178	4,742,827	△351,852	6,893,193	161,028	△57,480	103,547	△4,880	6,991,860

### 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第60期	第61期
	2023年3月31日現在	2024年3月31日現在
◇資産の部		
流動資産	7,150,716	10,159,104
固定資産	5,853,176	6,131,918
有形固定資産	4,853,675	5,019,132
無形固定資産	129,313	120,988
投資その他の資産	870,187	991,796
資産合計	13,003,893	16,291,022
◇負債の部		
流動負債	6,481,065	8,535,452
固定負債	1,293,639	1,209,788
負債合計	7,774,705	9,745,240
◇純資産の部		
株主資本	5,137,267	6,384,754
評価・換算差額等	91,920	161,028
純資産合計	5,229,187	6,545,782
負債・純資産合計	13,003,893	16,291,022

### 損益計算書

(単位：千円)

科 目	第60期	第61期
	2022年4月1日～ 2023年3月31日	2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	15,225,782	18,175,510
売上原価	11,749,442	13,478,011
売上総利益	3,476,339	4,697,498
販売費及び一般管理費	2,514,693	2,762,849
営業利益	961,646	1,934,649
営業外収益	50,559	48,218
営業外費用	55,960	38,267
経常利益	956,246	1,944,600
税引前当期純利益	956,246	1,944,600
法人税、住民税及び事業税	394,360	598,909
法人税等調整額	△91,797	△62,554
当期純利益	653,682	1,408,245

### 株主資本等変動計算書

第61期 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本									評価・換算差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計			その他の有価証券評価差額金
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	1,752,040	142,286	607,891	750,178	56,193	2,930,708	2,986,901	△351,852	5,137,267	91,920	5,229,187	
当期変動額												
剰余金の配当					16,075	△176,834	△160,758		△160,758		△160,758	
当期純利益						1,408,245	1,408,245		1,408,245		1,408,245	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										69,108	69,108	
当期変動額合計	-	-	-	-	16,075	1,231,410	1,247,486	-	1,247,486	69,108	1,316,594	
当期末残高	1,752,040	142,286	607,891	750,178	72,269	4,162,118	4,234,388	△351,852	6,384,754	161,028	6,545,782	

# Corporate Profile

会社の概要 (2024年6月25日現在)

## 概要

商号 株式会社ヤマックス  
本社所在地 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号  
設立年月日 1963年10月10日  
資本金 17億5,204万円  
従業員数 519名 (2024年3月31日現在)

## 役員

代表取締役会長	茂森 潔	社外取締役	津留 清
代表取締役社長	茂森 拓	監査役	長岡 純生
取締役副社長	森 将彦	社外監査役	松山 隆文
取締役	浦崎 啓之	社外監査役	中島 邦介
取締役	渡辺 宏之		
取締役	木山 伸悟		
取締役	森田 芳文		

## 沿革

1963年 10月 長崎県島原市にヤマウコンクリート工業株式会社を設立、各種コンクリート二次製品の設計・製造及び販売に関する事業を開始  
1964年 2月 長崎県南高来郡 (現:雲仙市) 国見町に島原工場を新設  
1967年 8月 熊本県下益城郡 (現:宇城市) 松橋町に松橋工場を新設  
11月 長崎県南高来郡 (現:雲仙市) 国見町に本社を移転  
1968年 11月 熊本県山鹿市に株式会社ヤマウ工業本社工場を新設  
1973年 9月 熊本県下益城郡 (現:宇城市) 小川町に小川工場を新設  
1974年 3月 熊本県荒尾市に有限会社荒尾コンクリート工業本社工場を新設  
1979年 7月 埼玉県羽生市にヤマウハウス株式会社埼玉工場を新設  
1981年 8月 長崎県北松浦郡 (現:佐世保市) 吉井町に佐世保工場を新設  
1989年 1月 熊本県玉名郡長洲町に長洲工場を新設  
1990年 7月 熊本県熊本市に本社を移転  
1991年 9月 株式会社ヤマウ工業、ヤマウハウス株式会社、荒尾コンクリート工業株式会社 (旧:有限会社荒尾コンクリート工業) 及び小倉建材工業株式会社の4社を吸収合併し、株式会社ヤマックスに商号変更  
1993年 10月 福岡県山門郡 (現:みやま市) 瀬高町に瀬高工場を新設  
1995年 11月 日本証券業協会に株式を店頭登録  
1997年 11月 株式会社ミナト建材 (連結子会社) を設立  
2004年 12月 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場  
2006年 5月 株式会社福岡ヤマックス (現:連結子会社) を設立  
2010年 4月 ジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所 JASDAQ市場に株式を上場  
2011年 8月 熊本県球磨郡相良村に人吉工場を新設  
2012年 3月 利根ジオテック株式会社 (現:株式会社東北ヤマックス、連結子会社) の株式取得  
9月 茂森興産株式会社 (連結子会社) を吸収合併  
2013年 4月 H.O.C株式会社 (長崎県大村市) との共同出資にて、長崎県佐世保市に株式会社HOCヤマックス (関連会社) を設立  
7月 東京証券取引所と大阪証券取引所の統合に伴い、東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) に株式を上場  
2014年 4月 株式会社ミナト建材 (連結子会社) を吸収合併  
2020年 4月 株式会社HOCヤマックスを連結子会社化  
2022年 4月 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東京証券取引所の市場 JASDAQからスタンダード市場に移行



松橋工場



小川工場



長洲工場



瀬高工場

## 株式の状況

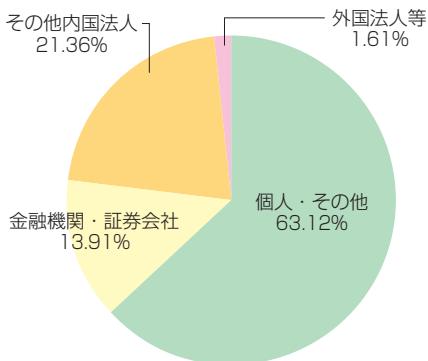
発行可能株式総数	46,000,000株
発行済株式の総数	11,580,000株
株主数	5,091名

## 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (株)	持株比率 (%)
茂森 潔	762,000	7.58
株式会社麻生	687,400	6.84
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	414,100	4.12
茂森 拓	411,000	4.09
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	400,000	3.98
UBE三菱セメント株式会社	370,000	3.68
ヤマックス従業員持株会	245,120	2.43
株式会社南日本銀行	240,000	2.38
共和コンクリート工業株式会社	220,000	2.18
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	214,400	2.13

(注) 上記のほか、自己株式が1,532,596株あり、持株比率はこれを控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況 (株式数ベース)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
公示方法	電子公告 ( <a href="https://www.yamax.co.jp/">https://www.yamax.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
株主様に対する特典	工場見学会 (毎年1回)

### お問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	フリーダイヤル： 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意	特別口座では、単元未満株式の買取、買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。	
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。</li> <li>お届出が済んでいない株主さまは、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。</li> </ul>	

# YAMAX Network

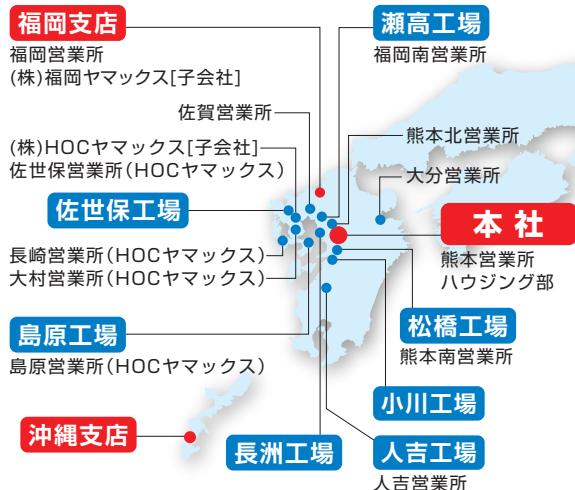
事業所案内 (2024年6月25日現在)

## ヤマックスグループネットワーク

ヤマックスグループはコンクリート二次製品の総合メーカーとして、自社で製品設計を行い、日本工業規格認可の自社工場で厳しい製品管理と品質管理を経た最高水準のコンクリート二次製品を製造し、日本全国へ供給しています。



(東北ヤマックス 本社・一関工場)



(本社ビル)



(東京支店)



(福岡支店)

# Offices & Plants

## 事業所一覧



### (株)ヤマックス

〈本 社〉	〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-381-6411
〈支 店〉	東京支店 〒104-0033 東京都中央区新川2丁目9番6号シュテルン中央ビル4F	TEL 03-6858-3751
	福岡支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2600
	沖縄支店 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜5丁目3番7号	TEL 098-890-1700
〈営業所〉	熊本営業所 〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-381-1311
	熊本南営業所 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1392番地	TEL 0964-33-1058
	熊本北営業所 〒861-0522 熊本県山鹿市久原2565番地1	TEL 0968-43-4195
	人吉営業所 〒868-0095 熊本県球磨郡相良村柳瀬822番地40	TEL 0966-34-2032
	福岡営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2605
	福岡南営業所 〒835-0016 福岡県みやま市瀬高町濱田338番地1	TEL 0944-62-5555
	佐賀営業所 〒840-0806 佐賀県佐賀市神園4丁目7番16号1F西側	TEL 0952-32-2151
	大分営業所 〒870-0942 大分県大分市大字羽田75番地40	TEL 097-500-8840
〈工 場〉	松橋工場 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1392番地	TEL 0964-33-1058
	人吉工場 〒868-0095 熊本県球磨郡相良村柳瀬822番地40	TEL 0966-34-2032
	長洲工場 〒869-0111 熊本県玉名郡長洲町名石浜1番地	TEL 0968-78-3181
	小川工場 〒869-0606 熊本県宇城市小川町河江1212番地	TEL 0964-43-1131
	瀬高工場 〒835-0016 福岡県みやま市瀬高町濱田338番地1	TEL 0944-62-5555
	島原工場 〒859-1311 長崎県雲仙市国見町土黒甲394番地1	TEL 0957-78-2131
	佐世保工場 〒859-6311 長崎県佐世保市吉井町橋川内1000番2	TEL 0956-64-4111
	埼玉工場 〒348-0004 埼玉県羽生市弥勒1136番地1	TEL 048-565-3621
〈ハウジング部〉	〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目9番5号	TEL 096-340-8840

### (株)東北ヤマックス

〈本 社〉	〒021-0852 岩手県一関市宇沢160番地	TEL 0191-23-1180
〈支 店〉	仙台支店 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4番16号	TEL 022-207-4840
〈営業所〉	一関営業所 〒021-0852 岩手県一関市宇沢160番地	TEL 0191-23-2305
〈工 場〉	一関工場 〒021-0852 岩手県一関市宇沢160番地	TEL 0191-23-1180

### (株)福岡ヤマックス

〈本 社〉	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目18番7号博多電気ビル1F	TEL 092-473-2755
-------	---	------------------

### (株)HOCヤマックス

〈本 社〉	〒858-0907 長崎県佐世保市棚方町221番地2	TEL 0956-59-7791
〈営業所〉	佐世保営業所 〒858-0907 長崎県佐世保市棚方町221番地2	TEL 0956-59-7791
	長崎営業所 〒852-8117 長崎県長崎市平野町1番34号ロイヤルハイツセントポール1F	TEL 095-842-5215
	大村営業所 〒856-0835 長崎県大村市久原町2丁目1533番地2	TEL 0957-46-9999
	島原営業所 〒859-1311 長崎県雲仙市国見町土黒甲394番地1	TEL 0957-78-2133

暮らしのそばに



あ、ここにも。  
ヤマックス

あなたの暮らしに。あなたのそばに。



<https://www.yamax.co.jp/>